

SUBCON Thailand 2014 九州ブース出展

と き 5月15日(木)～5月17日(土)

ところ タイ・バンコク国際貿易展示場

出展者 17名

1. 概要

九州経済産業局と一般社団法人九州経済連合会が事務局を務める九州経済国際化推進機構(以下「機構」)では、経済交流に関する覚書(MOU)の締結先であるタイ政府投資委員会(BOI)が主催するASEAN地域有数の自動車・機械・電気電子分野のサポートインダストリー(下請産業)展示会「SUBCON Thailand 2014」(サブコン・タイランド)に九州企業4社を取りまとめてブース出展を行った。同展示会は、タイ、ASEAN等から部品メーカーが出展する大型展示会であり、今回が8回目の開催となる。

機構はBOIからの紹介を受け、昨年5月に九州ブース出展検討のための情報収集等を目的として試験的に参加したが、今回初めて正式に出展を実施した。

2. 「SUBCON Thailand 2014」への出展

機構は今回の展示会で出展企業の支援を行うとともに、九州のビジネス環境や観光のPR、情報収集等を実施した。

展示会初日は、主催者側によるタイのビジネス環境と投資機会についてのセミナーが開催された。日本語同時通訳で行われた本セミナーでは、BOIのウドム・ウォンウィワットチャイ長官やタイ王国大阪総領事館のヴィシット・シットヴィマーン総領事の挨拶をはじめ、BOIマーケティング部エグゼクティブディレクターのボンゴット・アヌロート氏によるASEANにおけるタイの強みとタイの投資奨励政策についての講演があった。さらに当日は、主催者側による出展者歓迎のレセプションパーティも盛大に開かれた。

3. 現地関係機関・駐在員との交流会

初日、BOI主催のセミナーの後、BOIのボンゴット氏やBOI事務局の方々と出展者との情報交流会を開催した。BOIとの交流会では、BOIよりタイ進出支援策等の説明があり、出展者から多くの質疑が寄せられた。

展示会の二日目には、JICAタイ事務所を訪問。池田修一所長と三好克哉企画調査員よりタイの経済状況や日本企業がタイへ進出する際の技術協力支援制度などについての説明があった。

また機構は、タイへの進出や事業拡大を検討中の出展者に現地でのネットワーク拡大の場を提供するため、福岡県バンコク事務所、(株)麻生バンコク事務所をはじめ、福岡銀行、タイ・カシコン銀行(福岡銀行から出向)、SVニッタン(日本タングステン(株)の現地合併会社)、西村あさひ法律事務所バンコク事務所から現地駐在員の方々を招いての交流会を開催した。

今回の展示会では、世界各国から252社の出展があり、併催のイベントと合わせて4万人を超える来場者(バイヤーを含む)が訪れた。また、80億バーツ(約252億円)の商談が成立するなど、世界の関係者のタイへの関心が依然として高いことを示しており、今後もタイのビジネスチャンスは広がるものと期待される。

【九州経済連合会 国際部 崔】